

《Dr. John Hall on pain relief：セラジェルによる痛みの緩和について》

今回はセラジェルの痛みの緩和について少しお話ししましょう。

このプレゼンでは、100%植物由来の成分がどうやって痛み緩和という素晴らしい効果をもたらすのかという話をします。より理解したい人のために、ほんの少しだけ化学の話を行います。

医師や看護師や生理学を学んだことのある人なら、全く興味がなくても理解できるでしょう。動画を観ずに離れて良い一日をお過ごしいただいても結構ですが、でも生理学を理解している人ならきっと気に入ると思います。



3つのPRO

- 痛みの緩和(しびれなしに)
- 汚染を防ぐ
- 最適な治癒を促す

オーラル・コーティング・リンスのセラジェルは、口を清潔に健康に快適に維持する助けとなるようにデザインされています。

この製品は薬剤不使用、すべて天然で、毒性がなく、3つの素晴らしいことを行います。私はスリープロ（3 PRO）と呼んでいます。

1 分ほどで痛みが和らぎ、数分後には口の中が麻痺することなく痛みから解放されます。麻痺しないという事もとても大切です。

2 番目の PRO は、汚染から守ることです。これについては別のプレゼンで説明しています。

3 番目の PRO は、最適な治癒を促進することですが、これはとても重要で、これも他のプレゼンで説明しています。

今回は、生理学的見地から痛みについてお話ししようと思います。

この製品は植物由来の食品成分が水に溶けている製品だと言いましたが、特にマンノース多糖体、アロエベラの分子であるアセマンナンが、どうやって痛みを和らげるのでしょうか。

どうやって治癒プロセスを刺激するのでしょうか。

また、もうひとつ天然の糖質であるキシリトールも入っています。

そして、シナモン、クローブ、タイム、ウインターグリーンのエッセンシャルオイルがわずか

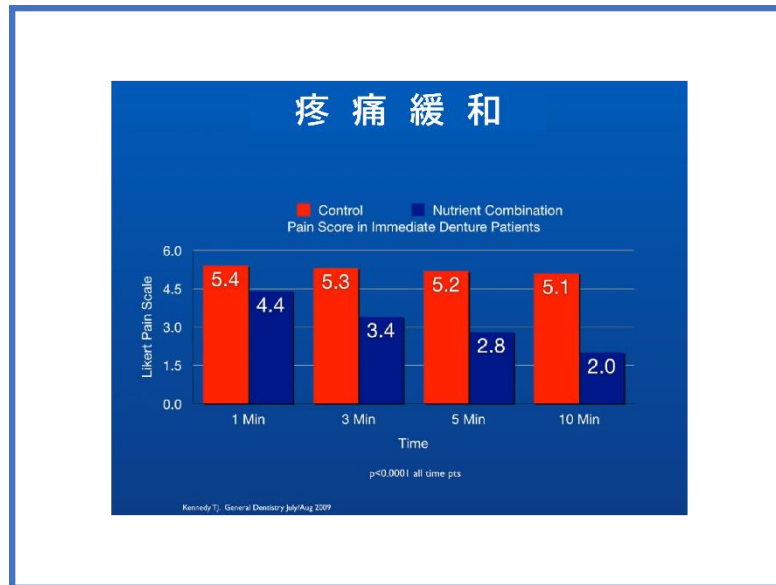
成分

- マンノース多糖体(マンナン類)
- エッセンシャルオイル
 - クローブ
 - シナモン
 - タイム
 - ウインターグリーン
- キシリトール

に入っています。これらは天然の防腐システムです。
このことについても別のプレゼンで説明しています。

今回は痛みの緩和について話しますので、2009 年に歯科専門誌に発表された研究のデータをお見せしましょう。

私たちはセラジェルを使った試験はやっていなくて、これはソキットジェルを使った試験です。



殆どの人はソキットジェルの事を知っていると思いますが、ソキットジェルはゲル状で、セラジェルは液体の製品です。

ソキットジェルは注射器に入っているジェルで、歯科医院に販売され、歯科医が使っています。
抜歯部分や入れ歯に最適です。

ソキットジェルは少し水分が少ないゲル状になっていますが、セラジェルは同じ成分で作られている同様の製品です。

これは有効な研究で、私たちが持っている唯一の痛みの試験です。

対象者は何本も抜歯した患者さんたちで、翌日にクリニックに来て、抜歯後 24 時間で新しい入れ歯を入れました。

傷んだり傷ついたりしている組織の上に入れ歯を入れたり外したりするのですから、痛くて痛くて仕方ありません。

患者を 2 つのグループに分け、0 から 10 までのリカット・ペイン・スケールを使って評価しました。

0 は全く傷みなし、10 は耐え難い痛みです。これはスタンダードな痛みを測定する方法です。

赤のコントロールグループは、アセトアミノフェンかタイレノールと一緒に 10 mg のヒドロコドンを飲みました。これは処方される標準的な麻薬です。

通常は、5 mg か 7.5 mg の投与ですから、10 mg は強い麻薬です。なにしろ何本も抜歯していますから。

10 分経っても、麻薬を投与した彼らの痛みは、0 から 10 までの 11 段階のうち、半分強の 5 くらいに留まっていました。

青で示したソキットジェルを入れ歯に注入した患者 44 人の平均スコアは、1 分以内に痛みが和らいでいることを感じ、10 分ではスコア 2 に下がっています。

私はこの試験を 10 分で終了しました。これは 2008 年に行ったもので、12 年経った今でも 10 分以上協力してくれるボランティアを探すこともできるのですが、13 年間の臨床経験からすると、あと 5 分か 10 分あればスコアは 0 から 1 の間になるでしょう。麻薬を使ってもスコアは 5 なのに。

3、4 年前に 2、3 の他の研究が発表されて、複数本の抜歯に対して 10 mg のヒドロコロンを投薬したところ、24 時間でスコア 5 でした。麻薬と一緒に投薬しても同様でした。麻薬はあまり効かないんです。私は手術をしていましたので、モルヒネやオキシコドン、ヒドロコドンを使ったことがありますが、麻薬は痛みを和らげるだけです。

気を付けてほしいのは、薬物誘発性多幸感と呼ばれるもので、アメリカではオピオイドクライシス（薬害危機）が起きています。

これらの薬は痛みを気にしないようにさせているだけです。

私だって気にしたくありませんが、この製品が愛されているのは、痛みが実際に消えるからです。

こちらは麻薬で、こちらは食べ物です。

乱用の可能性と毒性の可能性には大きな違いがあります。

毒性がない、乱用の可能性がない食品です。

では、どのようにして食べ物がそのような働きをするのか、少しお話ししたいと思います。

2 つのことをやっています。

ソキットジェルの話はここで終わりにして、セラジェルについてお話していきましょう。

セラジェルを口全体に行き渡らせ、そして飲むことで、セラジェルは口の組織をコーティングし、保護します。

これは局所的な治療です。

傷の痛み緩和について話すときに局所的な治療はしないですね。

私が歯科医師に話をすると、薬を考えて薬を使うこと、薬を注入したり、経口投与することに慣れていて、それが常識なんです。

だから説明しなければなりません。

もしあなたが麻薬を大量に摂取して、ラリっていたら、手を火に突っ込んで火傷しても、麻薬で痛みは大幅に軽減されています。

私なら火傷に冷たい水を当てますね。そうすればより良い鎮痛効果が得られるでしょう。

そして軟膏やジェルを塗ります、私ならこの製品を塗って、患部を保護します。

すぐに塗れば外用薬の方が効果があるし、みんなわかっています。

まず第一に、患部をコーティングして保護することです。

セラジェル オーラル・コーティング・リンス

患部組織を覆い保護する
最も効果的な局所治療

そしてもう一つ、このジェルはナトリウムイオンと結合します。

生理学を学んだことがある人たちは意味が分かるかもしれないし、学んでいない人にとっては新しい内容かもしれません。

しかし、重要なのは、痛みに対する衝動を生み出す最初のステップです。

神経細胞の膜の外側にはナトリウムイオンが並んでいて、ある刺激によってナトリウムイオンが神経細胞内へ流れ込みます。

するとカリウムイオンが神経細胞外に出て、活動電位と呼ばれる脱分極の波が発生します。

ドミノ倒しのようにナトリウムイオンが流入し、電荷が変化し、それが脳まで伝わり、脳は「これは痛みだ」と感じます。

麻薬は脳に作用して痛みを感じさせないように錯覚させるわけですが、イブプロフェンのような他の鎮痛剤では痛みあまり効果がありません。

このような鎮痛剤は、COX2 というある種の酵素を阻害する COX2 阻害剤なのですが、シクロオキシゲナーゼは治癒プロセスにおいて重要なのです。

しかし、それを阻害することで、炎症を阻害してある程度の痛みを緩和しているのですが、創傷治癒における正常な生理反応を妨害しているのです。

アセマンナンには、アロエベラから見つかったマンノース多糖体には、何兆もの結合部位があり、ナトリウムイオンに付着して細胞への侵入を阻止します。

だから、このジェルは傷の一番上で、神経細胞の一番上で働くのです。

写真があればいいのですが、ぴったりのものが見つからなくてお見せできないんですが、痛みを起こす最初の一步を防げば痛みを止めることができるのです。

自分を誤魔化して痛みを感じていないのではありません。

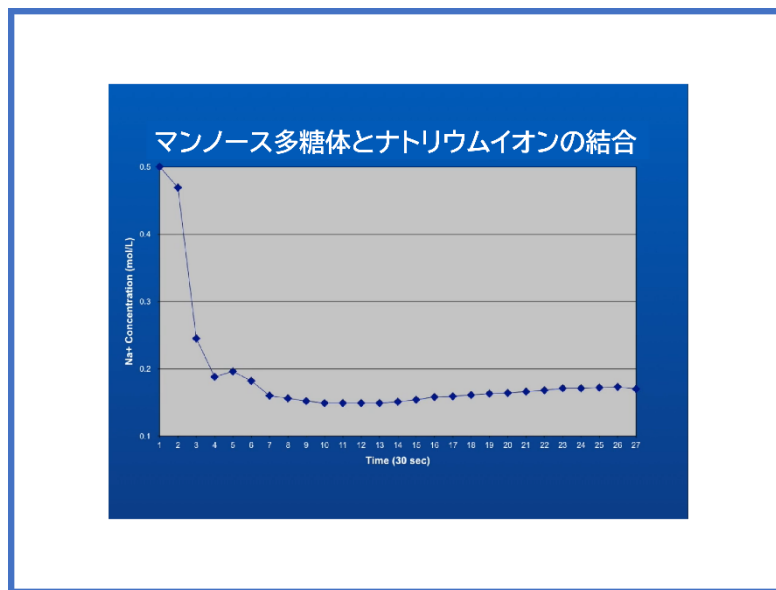
局所的にその部分を保護し、ナトリウムイオンを結合させ、痛みの発生の第一歩を止めれば、このような結果が得られるのです。痛みから解放されるのです。

局所的な保護とナトリウムイオンの結合です。

セラジェル オーラル・コーティング・リンス

ナトリウムイオンと結合

これは試験管内で約 60 秒間、フリーのナトリウムイオンとマンノース多糖体を結合させた試験です。
見ての通り、マンノース多糖体はナトリウムイオンと結合します。



これだから、口の中がただれたり、火傷をしたときにジェルで痛みを和らげることができるのです。
より清潔な、より健康な、より快適な口を実現するセラジェルは、私たちが愛してやまない製品です。

セラジェル

オーラル・コーティング・リンス

より清潔に、より健康に
より快適な口！

この資料を提供するにあたって

動画の内容を理解するため、個人的に翻訳したものです。

誤訳等があっても責任は負いかねます。 作成 堺晶子